



安全データシート

Copyright, 2025, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	30-2817-2	版	1.00
発行日	2025/01/14	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3MTM シーラー AC-770 B-1 Kit

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	自動車産業システム事業部 航空機マーケット営業部
電話番号	ナビダイヤル 0570-011-511 受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝日は除く)

本製品は個々に包装された複数の構成部品からなるキット製品である。SDSには個々の構成部品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

30-2815-6, 30-2816-4

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2025, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	30-2815-6	版	1.00
発行日	2025/01/14	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[®] シーラー AC-770 B-1 主剤

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

シーラント

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	自動車産業システム事業部 航空機マーケット営業部
電話番号	ナビダイヤル 0570-011-511 受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝日は除く)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害区分に該当しない。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

その他の有害性

二酸化チタンは発がん性物質に区分されているが、本製品の通常の使用において健康影響のあるような暴露はないと考えられる。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
多硫化ゴム	68611-50-7	70 - 75
炭酸カルシウム	471-34-1	15 - 20
酸化チタン(IV)	13463-67-7	3.3
非晶性シリカ	67762-90-7	< 1.0
フェノール・ホルムアルデヒド重合物 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合物)	9003-35-4	< 1.0
エポキシ樹脂	25085-99-8	0.40
ホルムアルデヒド	50-00-0	< 0.05

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物**物質**

ホルムアルデヒド
一酸化炭素
二酸化炭素
塩化水素

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレートの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

酸から離して保管する。強塩基から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目**

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m ³ ;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m ³	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8時間):2 mg/m ³ ;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m ³ ;TWA(8時間):0.3 mg/m ³ ;TWA(提案)(8時間):0.3 mg/m ³	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
クラス1及び2以外の有機及び無機粉塵、総粉塵	471-34-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):8 mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):2 mg/m ³	
不活性あるいは有害なダスト	471-34-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m ³	
結晶質シリカ含有率3%未満の鉱物性粉塵	471-34-1	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m ³ ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m ³	
ホルムアルデヒド	50-00-0	ACGIH	TWA:0.1 ppm;STEL:0.3 ppm	A1: ヒトに対する発がん性物質, 皮膚/呼吸器感作性物質
ホルムアルデヒド	50-00-0	ISHL	TLV(8時間):0.1 ppm	
ホルムアルデヒド	50-00-0	JSOH OELs	TWA(8時間):0.12 mg/m ³ (0.1 ppm);CEIL:0.24 mg/m ³ (0.2 ppm)	2A: ヒトに対しておそらく発がん性がある。皮膚感作性。おそらく呼吸器感作性がある。
マゼンタ色	50-00-0	JSOH OELs	限界値は未設定	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
ベークライト、吸入性粉塵	9003-35-4	JSOH OELs	TWA(推奨)(総粉塵として)(8時間):4 mg/m ³ ;TWA(吸入性粉塵として)(8時間):1 mg/m ³	

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m³: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具**眼の保護具**

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質**基本的な物理・化学的性質**

外観	液体
物理的状態:	チクソトロピー性ペースト。
色	白色
臭い	硫黄臭
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	>=93.3 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。

蒸気圧	データはない。
相対蒸気密度	データはない。
密度	1.1 g/ml
比重	1.1 [参照基準：水=1]
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	3.4 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	3.4 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

還元剤

強塩基

強酸

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
多硫化ゴム	皮膚	ラット	LD50 > 7,800 mg/kg
多硫化ゴム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
炭酸カルシウム	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
炭酸カルシウム	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 3 mg/l
炭酸カルシウム	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
非晶性シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
非晶性シリカ	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
非晶性シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
エポキシ樹脂	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
エポキシ樹脂	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
フェノール・ホルムアルデヒド重合物 (1-1-ジメチル)	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg

プロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体			
フェノール・ホルムアルデヒド重合体（1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体）	経口摂取	ラット	LD50 > 2,900 mg/kg
ホルムアルデヒド	皮膚	ウサギ	LD50 270 mg/kg
ホルムアルデヒド	吸入-ガス（4時間）	ラット	LC50 470 ppm
ホルムアルデヒド	経口摂取	ラット	LD50 800 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
多硫化ゴム	ウサギ	刺激性なし
炭酸カルシウム	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
非晶性シリカ	ウサギ	刺激性なし
エポキシ樹脂	ウサギ	軽度の刺激
フェノール・ホルムアルデヒド重合体（1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体）	ヒト及び動物	軽度の刺激
ホルムアルデヒド	公的な分類	腐食性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
多硫化ゴム	ウサギ	刺激性なし
炭酸カルシウム	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
非晶性シリカ	ウサギ	刺激性なし
エポキシ樹脂	ウサギ	中程度の刺激
フェノール・ホルムアルデヒド重合体（1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体）	ヒト及び動物	中程度の刺激
ホルムアルデヒド	公的な分類	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
多硫化ゴム		区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
非晶性シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。
エポキシ樹脂	ヒト及び動物	感作性あり
フェノール・ホルムアルデヒド重合体（1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体）	ヒト及び動物	感作性あり
ホルムアルデヒド	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
----	-----	---------

エポキシ樹脂	ヒト	区分に該当しない。
フェノール・ホルムアルデヒド重合体（1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体）	ヒト	区分に該当しない。
ホルムアルデヒド	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
非晶性シリカ	In vitro	変異原性なし
エポキシ樹脂	In vivo	変異原性なし
エポキシ樹脂	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホルムアルデヒド	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホルムアルデヒド	In vivo	変異原性

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
非晶性シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
エポキシ樹脂	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホルムアルデヒド	特段の規定はない。	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
非晶性シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
非晶性シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
非晶性シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
エポキシ樹脂	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
エポキシ樹脂	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
エポキシ樹脂	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
エポキシ樹脂	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
ホルムアルデヒド	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg	適用しない。
ホルムアルデヒド	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10 ppm	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分
フェノール・ホルムアルデヒド重合体（1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体）	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器系	臓器への影響	ラット	LOAEL 128 ppm	6 時間
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
非晶性シリカ	吸入した場合	呼吸器系 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
エポキシ樹脂	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
エポキシ樹脂	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
エポキシ樹脂	経口摂取	聴覚系 心臓 内分泌系 造血器系 肝臓 眼 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
フェノール・ホルムアルデヒド重合体（1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体）	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ホルムアルデヒド	皮膚	呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 80 mg/kg/day	60 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.3 ppm	28 月
ホルムアルデヒド	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 20 ppm	13 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 15 ppm	3 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 10 ppm	13 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	内分泌系 免疫システム 筋肉 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 15 ppm	28 月
ホルムアルデヒド	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 15 ppm	2 年
ホルムアルデヒド	吸入した場合	眼 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.3 ppm	2 年
ホルムアルデヒド	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 14.3 ppm	2 年

ホルムアルデヒド	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 20 mg/kg/day	4 週
ホルムアルデヒド	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 15 mg/kg/day	24 月
ホルムアルデヒド	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 109 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	心臓 内分泌系 造血器系 呼吸器系 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	皮膚 筋肉 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 109 mg/kg/day	2 年

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
多硫化ゴム	68611-50-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
炭酸カルシウム	471-34-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l

炭酸カルシウム	471-34-1	緑藻類	実験	72 時間	EC10	100 mg/l
非晶性シリカ	67762-90-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
フェノール・ホルムアルデヒド重合物 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合物)	9003-35-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ホルムアルデヒド	50-00-0	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	4.89 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	ストライプトバス	実験	96 時間	LC50	6.7 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	5.8 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	メダカ	実験	28 日	NOEC	>=48 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	>=6.4 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	液状化	実験	3 時間	EC50	19
エポキシ樹脂	25085-99-8	液状化	推定値	3 時間	IC50	>100 mg/l
エポキシ樹脂	25085-99-8	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>11 mg/l
エポキシ樹脂	25085-99-8	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/l
エポキシ樹脂	25085-99-8	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	1.8 mg/l
エポキシ樹脂	25085-99-8	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	4.2 mg/l
エポキシ樹脂	25085-99-8	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.3 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン (IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
多硫化ゴム	68611-50-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
炭酸カルシウム	471-34-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
非晶性シリカ	67762-90-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジメチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合体)	9003-35-4	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	3 %BOD/ThOD	
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	99 DOC除去%	OECD 301A - DOC Die Away 試験
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 生分解性	160 日	生物学的酸素要求量	99.5 %BOD/COD	OECD 303A - 模擬好気性下
エポキシ樹脂	25085-99-8	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	5 %BOD/COD	OECD 301F
エポキシ樹脂	25085-99-8	推定値 加水分解		加水分解性半減期	117 時間 (t _{1/2})	OECD 111 pHに応じた加水分解
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
多硫化ゴム	68611-50-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
炭酸カルシウム	471-34-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
非晶性シリカ	67762-90-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フェノール・ホルムアルデヒド重合体 (1-1-ジ)	9003-35-4	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.57	

メチルプロピルフェノール・ホルムアルデヒド重合物)						
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.35	
エポキシ樹脂	25085-99-8	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.242	
酸化チタン (IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制 (主な適用法令)**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の 3)

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達 基準第 182 号の 2

消防法：第四類第三石油類

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降

エポキシ樹脂	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(液状のものに限る)	適用しない	該当	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	30-2816-4	版	1.00
発行日	2024/12/18	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[®] シーラー AC-770 B-1 触媒

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

硬化剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	自動車産業システム事業部 航空機マーケット営業部
電話番号	ナビダイヤル 0570-011-511 受付時間/8:45~17:15 月~金(土・日・祝日は除く)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分1

皮膚腐食性/刺激性： 区分2

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響

特定標的臓器毒性(反復ばく露)： 区分1

水生環境有害性 短期(急性)： 区分1

水生環境有害性 長期(慢性)： 区分1

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

腐食性 健康有害性 環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H318	重篤な眼の損傷
H315	皮膚刺激
H362	授乳中の子に害を及ぼすおそれ
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 神経系。 呼吸器
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P263A	妊娠中及び授乳期中は接触をさけること。
P280A	保護眼鏡／保護面を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P391	漏出物を回収すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
二酸化マンガン	1313-13-9	39
水素化テルフェニル	61788-32-7	38

部分水素化ポリフェニル	68956-74-1	< 15
水	7732-18-5	< 10
天然非晶性化合物	営業秘密	< 10
ジペンタメチレンチウラムヘキサスルフィド	971-15-3	< 5.0
テルフェニル	26140-60-3	2.9
ゼオライト	1318-02-1	1.6
水酸化ナトリウム	1310-73-2	0.86
ファーバム	14484-64-1	0.49
鉛	7439-92-1	0.10
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	0.10

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
 二酸化炭素
 窒素酸化物
 酸化鉛
 硫黄酸化物

条件

燃焼中
 燃焼中
 燃焼中
 燃焼中
 燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。妊娠中／授乳期中は接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。指定された個人保護具を使用する。

保管

熱から離して保管する。酸から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
水酸化ナトリウム	1310-73-2	ACGIH	CEIL : 2 mg/m ³	
水酸化ナトリウム	1310-73-2	JSOH OELs	CEIL : 2 mg/m ³	
マンガン及びマンガン化合物	1313-13-9	JSOH OELs	TWA(マンガン、総粉じんとして)(8時間):0.1 mg/m ³ ;TWA(マンガン、吸入性粉じんとして)(8時間):0.02 mg/m ³	
マンガン化合物	1313-13-9	ISHL	TLV (マンガンとして) (8時間) : 0.5 mg/m ³	
マンガン無機化合物	1313-13-9	ACGIH	TWA(マンガン, 吸入性画分):0.02 mg/m ³ ;TWA(マンガン, 吸引性画分):0.1 mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
不溶性アルミニウム、化合物	1318-02-1	ACGIH	TWA (吸入性画分) : 1mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
ファーバム	14484-64-1	ACGIH	TWA (吸入性画分) : 5 mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
テルフェニル	26140-60-3	ACGIH	CEIL:5 mg/m ³	
水素化テルフェニル	61788-32-7	ACGIH	TWA : 0.5 ppm	
鉛及び鉛化合物 (アルキル化合物を除く)	7439-92-1	JSOH OELs	TWA(Pbとして)(8時間):0.03 mg/m ³	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
鉛	7439-92-1	ACGIH	TWA (鉛として) : 0.05 mg/m ³	A3: 動物発がん性物質
鉛	7439-92-1	ISHL	TLV (鉛として) (8時間) : 0.05 mg/m ³	
鉍物油、高精製油	8042-47-5	ACGIH	TWA (吸入性画分) : 5 mg/m ³	A4: ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
鉍物油、高精製油	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
オイルミスト、ミネラル	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具

を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質： ブチルゴム

ネオプレン

ニトリルゴム

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	ダークブラウン
臭い	わずかな土っぽい臭い
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	>=93.3 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	適用しない
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
相対蒸気密度	>=1 [参照基準: 空気=1]
密度	1.58 g/ml
比重	1.58 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。

発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	0.9 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	1 g/l [試験方法： SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

還元剤

強酸

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

皮膚に接触すると有害のおそれ。 皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。

眼に入った場合

化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。 胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

長時間又は反復暴露した場合：

神経への影響： 性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。 吸入作用： 症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。 頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。 授乳障害あるいは母乳で育てられている子供達に有害な化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
二酸化マンガン	皮膚	ラット	LD50 2,000 mg/kg
二酸化マンガン	吸入－粉塵 /ミスト（4 時間）	ラット	LC50 > 1.5 mg/l
二酸化マンガン	経口摂取	ラット	LD50 > 2,197 mg/kg
水素化テルフェニル	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
水素化テルフェニル	吸入－粉塵 /ミスト（4 時間）	ラット	LC50 > 4.7 mg/l
水素化テルフェニル	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg

テルフェニル	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
テルフェニル	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LD50 > 3.8 mg/l
テルフェニル	経口摂取	ラット	LD50 2,304 mg/kg
ジペンタメチレンチウラムヘキサスルフィド	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ゼオライト	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ゼオライト	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 4.57 mg/l
ゼオライト	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ファーバム	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,000 mg/kg
ファーバム	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 0.4 mg/l
ファーバム	経口摂取	ラット	LD50 1,130 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
鉛	皮膚		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
二酸化マンガン	ウサギ	刺激性なし
水素化テルフェニル	ウサギ	刺激性なし
テルフェニル	ウサギ	刺激性なし
ゼオライト	ウサギ	刺激性なし
水酸化ナトリウム	ウサギ	腐食性
ファーバム	ウサギ	刺激性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	刺激性なし
鉛	類似化合物	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
二酸化マンガン	ウサギ	軽度の刺激
水素化テルフェニル	ウサギ	刺激性なし
テルフェニル	ウサギ	刺激性なし
ゼオライト	ウサギ	軽度の刺激
水酸化ナトリウム	ウサギ	腐食性
ファーバム	ウサギ	激しい刺激
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	軽度の刺激
鉛	類似化合物	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
二酸化マンガン	マウス	区分に該当しない。
水素化テルフェニル	ヒト	区分に該当しない。
水酸化ナトリウム	ヒト	区分に該当しない。

ファーバム	モルモット	区分に該当しない。
ホワイトミネラルオイル（石油）	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
二酸化マンガン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
二酸化マンガン	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
水素化テルフェニル	In vitro	変異原性なし
水素化テルフェニル	In vivo	変異原性なし
テルフェニル	In vitro	変異原性なし
テルフェニル	In vivo	変異原性なし
ジベンタメチレンチウラムヘキサスルフィド	In vitro	変異原性なし
水酸化ナトリウム	In vitro	変異原性なし
ホワイトミネラルオイル（石油）	In vitro	変異原性なし
鉛	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ファーバム	経口摂取	ラット	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル（石油）	皮膚	マウス	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル（石油）	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
鉛	特段の規定はない。	公的な分類	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
二酸化マンガン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 20 mg/m ³	2 世代
二酸化マンガン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ウサギ	LOAEL 250 mg/kg	1 日
二酸化マンガン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 354 mg/kg/日	授乳期早期交配
二酸化マンガン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 61 mg/m ³	妊娠期から授乳期
水素化テルフェニル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 81 mg/kg/日	2 世代
水素化テルフェニル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 62 mg/kg/日	2 世代
水素化テルフェニル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	器官発生期
ファーバム	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 25 mg/kg/日	3 世代
ファーバム	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 25 mg/kg/日	3 世代

ファーバム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 11 mg/kg/日	器官発生期
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	妊娠期間中
鉛	特段の規定はない。	雌性生殖機能に有毒	ヒト	LOAEL 10 ug/dl blood	
鉛	特段の規定はない。	雄性生殖機能に有毒	ヒト	LOAEL 37 ug/dl blood	
鉛	特段の規定はない。	発生機能に有毒	ヒト	NOAEL 入手できない	

授乳に対するまたは授乳を介した影響

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ファーバム	経口摂取	ラット	授乳により影響を受ける。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
水酸化ナトリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
鉛	経口摂取	神経系	臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 90 ug/dl blood	中毒ないし乱用時
鉛	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
二酸化マンガン	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	サル	LOAEL 1.1 mg/m ³	10 月
二酸化マンガン	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
水素化テルフェニル	皮膚	皮膚	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 500 mg/kg/day	3 週
水素化テルフェニル	皮膚	造血器系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2,000 mg/kg/day	3 週
水素化テルフェニル	吸入した場合	肝臓 造血器系 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	13 週
水素化テルフェニル	経口摂取	造血器系 腎臓 および膀胱 肝臓 眼 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	14 週
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,381 mg/kg/day	90 日
ホワイトミネラルオイル（石油）	経口摂取	肝臓 免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,336 mg/kg/day	90 日
鉛	吸入した場合	腎臓および膀胱	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 60 ug/dl blood	職業性被ばく
鉛	吸入した場合	造血器系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 50 ug/dl blood	職業性被ばく

鉛	吸入した場合	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 40 ug/dl blood	職業性被ばく
鉛	吸入した場合	消化管	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
鉛	吸入した場合	心臓 内分泌系 免疫システム 脈管系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
鉛	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 20 ug/dl blood	3 月
鉛	経口摂取	眼	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 0.5 mg/kg/day	20 日
鉛	経口摂取	造血器系 腎臓 および膀胱	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 40 ug/dl blood	環境暴露。
鉛	経口摂取	神経系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ヒト	LOAEL 11 ug/dl blood	環境暴露。
鉛	経口摂取	聴覚系 心臓 内分泌系 脈管系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	環境暴露。

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
ホワイトミネラルオイル (石油)	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分1：水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分1：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
部分水素化ポリフェニル	68956-74-1	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ジペンタメチレンチウラム	971-15-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l

ヘキサスルフィド						
ジペンタメチレンチウラムヘキサスルフィド	971-15-3	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	100 mg/l
ファーバム	14484-64-1	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	2.4 mg/l
ファーバム	14484-64-1	グッピー	実験	96 時間	LC50	0.09 mg/l
ファーバム	14484-64-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	0.09 mg/l
ファーバム	14484-64-1	ニジマス	実験	60 日	NOEC	0.00056 mg/l
水素化テルフェニル	61788-32-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
水素化テルフェニル	61788-32-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	103 mg/l
鉛	7439-92-1	ファットヘッドミノウ(魚)	類似コンパウンド	96 時間	LC50	0.0408 mg/l
鉛	7439-92-1	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	ErC50	0.0205 mg/l
鉛	7439-92-1	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	0.026 mg/l
鉛	7439-92-1	該当なし	類似コンパウンド	30 日	EC10	0.0017 mg/l
鉛	7439-92-1	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	ErC10	0.0061 mg/l
鉛	7439-92-1	ニジマス	類似コンパウンド	578 日	NOEC	0.003 mg/l
鉛	7439-92-1	液状化	類似コンパウンド	24 時間	EC50	9 mg/l
二酸化マンガン	1313-13-9	ニジマス	エンドポイントに達しない。	96 時間	LC50	>100 mg/l
二酸化マンガン	1313-13-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
二酸化マンガン	1313-13-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
二酸化マンガン	1313-13-9	緑藻類	実験	72 時間	EC10	100 mg/l
二酸化マンガン	1313-13-9	ミジンコ	実験	8 日	NOEC	100 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	アフリカツメガエル	類似コンパウンド	96 時間	LC50	1,800 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	ファットヘッドミノウ(魚)	類似コンパウンド	96 時間	LC50	>680 mg/l

ゼオライト	1318-02-1	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	EC50	130 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	底生生物	類似コンパウンド	22 日	EC50	364.9 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	>100 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	ファットヘッドミノウ(魚)	類似コンパウンド	30 日	NOEC	86.7 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEC	18 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	32 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	バクテリア	実験	16 時間	EC50	950 mg/l
ゼオライト	1318-02-1	ラディッシュ	実験	23 日	EC50	4,000 mg/kg (乾燥重量)
水酸化ナトリウム	1310-73-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
テルフェニル	26140-60-3	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	0.022 mg/l
テルフェニル	26140-60-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.102 mg/l
テルフェニル	26140-60-3	ニジマス	実験	96 時間	LC50	27 mg/l
テルフェニル	26140-60-3	ファットヘッドミノウ(魚)	実験	34 日	NOEC	0.064 mg/l
テルフェニル	26140-60-3	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.00322 mg/l
テルフェニル	26140-60-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.005 mg/l
ホワイトミネラルオイル(石油)	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EL50	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル(石油)	8042-47-5	ブルーギル	実験	96 時間	LL50	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル(石油)	8042-47-5	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEL	100 mg/l
ホワイトミネラルオイル(石油)	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEL	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
部分水素化ポリフェニル	68956-74-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

ジペンタメチレンチウラムヘキサスルフィド	971-15-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301F
ファーバム	14484-64-1	類似コンパウンド 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
ファーバム	14484-64-1	実験 加水分解		加水分解性半減期	≤31 分 (t 1/2)	
水素化テルフェニル	61788-32-7	実験 生分解性	35 日	二酸化炭素の発生	1 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シェツルム試験又は二酸化炭素
水素化テルフェニル	61788-32-7	実験 光分解		光分解半減期 (水中)	86 日 (t 1/2)	
水素化テルフェニル	61788-32-7	実験 好気性土壌代謝		半減期 (t 1/2)	202 日 (t 1/2)	
鉛	7439-92-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
二酸化マンガン	1313-13-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ゼオライト	1318-02-1	類似コンパウンド 加水分解		加水分解性半減期	60 日 (t 1/2)	
水酸化ナトリウム	1310-73-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
テルフェニル	26140-60-3	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	0.5 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シェツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
部分水素化ポリフェニル	68956-74-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジペンタメチレンチウラムヘキサスルフィド	971-15-3	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.8	
ファーバム	14484-64-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-1.597	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
水素化テルフェニル	61788-32-7	類似コンパウンド BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	5200	OECD 305類似法

水素化テルフェニル	61788-32-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	>5.3	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
鉛	7439-92-1	実験 BCFーその他		生物濃縮係数	1322	
二酸化マンガン	1313-13-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ゼオライト	1318-02-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水酸化ナトリウム	1310-73-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
テルフェニル	26140-60-3	類似コンパウンド BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	12993	OECD305-生体濃縮度試験
テルフェニル	26140-60-3	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	5.86	
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3082 環境有害物質 (液体)

輸送分類 (IM0) : 9 その他の有害性物質

輸送分類 (IATA) : 9 その他の有害性物質

容器等級 : III

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法 : 危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の3)

労働安全衛生法 : 皮膚等障害化学物質 (安衛則第594条の2第1項) ; 皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法 : 施行令 18 条の2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法 : 施行令 18 条有害物質 (表示物質)

化審法 : 監視化学物質

消防法 : 第四類第三石油類

船舶安全法、航空法 : 有害性物質

海洋汚染防止法 : 環境有害物質

労働安全衛生法 : 施行令別表第三第二項および第三項 特定化学物質

地方労働局長宛て通達 エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について 昭和57年6月8日基発第339号

化管法 : 特定第 1 種指定化学物質

主な法規制物質

労働安全衛生法 : 通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
ファーバム	トリス (N, N-ジメチルジチオカルバメート) 鉄	該当	該当	該当
水素化テルフェニル	水素化テルフェニル	適用しない	適用しない	該当
鉛	鉛及びその無機化合物	該当	該当	該当
二酸化マンガン	無機マンガン化合物	該当	該当	該当
ゼオライト	ゼオライト	適用しない	該当	該当
水酸化ナトリウム	水酸化ナトリウム	該当	該当	該当
テルフェニル	テルフェニル	該当	該当	該当
ホワイトミネラルオイル (石油)	鉱油	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
水素化テルフェニル	水素化テルフェニル	238	第1種指定化学物質
鉛	鉛及びその化合物	697	特定第1種指定化学物質
二酸化マンガン	マンガン及びその化合物（マンガンに換算）	412	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。